

稿 寄 載 連 載

# 宮前カバナンス4月号 予算審査特別委員会で論戦 児童の通学路の安全対策を急げ！

川崎市議会議員 石田やすひろ

昨年起こった京都府亀岡市を始め、全国で通学児童を巻き込む痛ましい事故が多発、1月には国が通学路の緊急点検を行い、対策必要力所数を全国で7万4483カ所と発表しました。川崎市議会でこの問題を取り上げ、対策を求めました。川崎市教育委員会によると市内の必要対策力所は2

79。順次対応するとともに子どもたちを見守る地域交通安全員をこれまでの87カ所に加え13カ所分の増設を見込んでいるとのこと

です。また279カ所の内、ハード面の対策を実施する必要がありますのは131カ所

です。平成24年度末までに42カ所の対策を実施し、平成25年度の対策に取組む

必要があるのは131カ所。平成24年度末までに42カ所の対策を実施し、平成25年度の対策に取組む

必要があるのは131カ所。平成24年度末までに42カ所の対策を実施し、平成25年度の対策に取組む

必要があるのは131カ所。平成24年度末までに42カ所の対策を実施し、平成25年度の対策に取組む

必要があるのは131カ所。平成24年度末までに42カ所の対策を実施し、平成25年度の対策に取組む

必要があるのは131カ所。平成24年度末までに42カ所の対策を実施し、平成25年度の対策に取組む



川崎市立大蔵中学校卒業、明治大学大学院（公共政策修士）修了、国会議員の秘書を経て1999年28歳初当選。現在4期目。子育て支援策の強化や区役所機能の強化を推進する。その他、政策を議会で提案し多数実現をしている。議会発言後は、必ず新聞や広報紙を作成しその内容について積極的に市政報告を実施。

他のブログ等は  
市議会議員 石田やすひろ 検索

計画です。しかし、改善のため協働して行わなくてはならない

局間の調整と協議が未だに行われていないことがわかりました。子どもたちの安全を守ることに当然、「待つた」はなしです。早急に、関係機関と連携し取組まなければなりません。

宮前区では地域のPTAなどが主体となり、昨年8月、独自の調査結果をまとめました。対策を実施する必要があります箇所は市道管生713号線を始め14カ所。区役所に改善要望書を提出

を求め、訴えています。

を求め、訴えています。

を求め、訴えています。

を求め、訴えています。

を求め、訴えています。

を求め、訴えています。



今月の1枚

しました。平成25年度にはこの14カ所に対して路側帯内のカラー舗装と横断防止柵設置を設置する予定のことです。安全な通学路は市民の強い願いです。予算審査特別委員会では、この点をふまえ、未だ対応していない箇所の早急な対応を求めました。市内279カ所の改善は火急の課題です。これからも子どもたちが安心してできる環境づくりを求め、訴えていきます。